

官営八幡製鐵所 旧日本事務所眺望スペース



1912年当時の旧日本事務所(左手は第一高炉)



1901年に操業を開始した官営八幡製鐵所は、日本の産業の近代化に貢献し、産業都市・北九州市の発展の礎を築きました。そして今もなお創業期の建物が残されており、2015年7月、世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産となっています。これらの施設は製鐵所構内に立地していることから一般には公開されていませんが、この眺望スペースから、構成資産である「旧日本事務所」(1899年竣工)を眺望することができます。ぜひ、世紀を超えた産業景観をご覧ください。

開場時間 9:30 ~ 17:00 (入場は16:30まで)

定休日 毎週月曜日
月曜日が祝日・休日の場合はその翌日
年末年始(12月29日~1月3日)

入場料 無料

注意事項 飲食・喫煙はできません。
(アルコール以外の飲み物は可)
個人利用に限り撮影可能です。
(望遠レンズ・三脚等の使用はご遠慮ください)

お問い合わせ
093-582-2922
(平日の8:30~17:15)

写真提供: 新日鐵住金(株)八幡製鐵所